

暑い毎日を清らかな名水で乗り切りましょう



湧き水は昔から、人々がその近くに住みついて飲み水に利用し、田んぼには水を与えてくれる大切なものでした。また、きれいな水を使って、酒や織物などを作ったりもしてきました。弁天様やお不動様がまつられ、信仰の対象になってきたものも少なくありません。同時に、いろいろな生きものたちにはかけがえのないすみかを提供してきました。ところが、人のくらしが変わり都市化がすすむとともに、残念ながら各地で失われています。

湧き水の元は、地下水です。雨水は、土や火山灰、岩の割れ目などを通して地下にしみこみます。それが地下の粘土層や基盤の岩といった水を通さない地層で止まると、地下水になります。その地下水が横に流れ、低い場所から湧き出すのです。湧き出した水は、泉や滝になったり、池や湿地を作ったりとさまざまですが、それらをあわせて湧き水と呼びます。



- 銘水滝の不動尊→館山自動車道富津中央ICから国道127号線、国道465号線を経由し県道182号線に入り1km
- 志駒不動様の霊水→館山自動車道富津中央ICから国道127号線を上総湊方面へ湊交差点を国道465号線から県道182号線に入り7分



銘水滝の不動尊

〒299-1755 千葉県富津市田原字滝ノ前792

県道182号線(上畑湊)線より西へ約1Kmほどの田原(たばら)地区にある不動堂のすぐそばの岩の間から湧き出る水で、水源は水室山。

未だかつてどんな日照りにも涸れたことのない湧き水です。沿道には、収穫したばかりの新鮮な野菜や手作りの漬物などを販売している直売所があります。



志駒不動様の霊水

〒299-1745 千葉県富津市志駒90-1

水室山山系を水源とする志駒川沿いの断崖岩を切り抜いた不動様の岩の割れめから水が湧き出しています。わずかに塩分を感じる水ですが、この水を使うとご飯・お茶・コーヒーがおいしくなるといわれています。